

HSK NPO 法人「文福」ニュース



「障」ちゃん



NO.269

270

冒頭の一言

合併号

もう3月になってしまいました。寒いことは寒いけど冬きたりなば、春遠からじです。

これからどんどん暖かくなっていくのを楽しみに待ちましょう。2月がどこかのコロナさんのおかげでみんな冬眠してしまいました。せっかく作った重度訪問介護の普及パンフレットがようやく出来上がったのに、皆さんに届けられない日が続きました。その間、テレビや新聞の報道を観て待っていた人たちにやっと届けられそうです。あくまで春遠からじです。春に向かって頑張っていきましょう。皆さん風邪とコロナと悪い人には気をつけましょう。それでは障ちゃんニュース、隅から隅までズズズイ〜っと読んでください。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	「私のしつけの祖母ありて」歩夢 … 2
「いってきます！をすべての人へ。」の問題点 八木 勝自 … 3-4	
オンライン飲み会報告 … 5	運営会議報告 … 6
『まっち』の原稿大募集 … 7	ありがとうコーナー … 8

「私のしつけの祖母ありて」

私が物心がついた時には、桑田家の祖母は、障害者としてよりも未来に生きてく上で人としての生きる知恵をくれました。

人と接する時は、心から、命を大切にすることから、簡単な挨拶と、想像力あれば、生きられる、とー。

一期一会と出逢いの中に、愛子は、風供養だと言って、亡き者も、生きる者も、仏だと。

レクイエムの心で生きるしかばねの宿命だから、これからは、愛子の時代は、友だち仲間たちが多く出来ることだろうと、言い残してくれました。

人はカネなど残すより、人の心の中で生きる魂だともー。

これが、私の生きる上での土台作りとなっています。

私が、文福の最初で最後の遺言書です。

歩夢



新聞広告などの「いってきます！をすべての人へ。」

の問題点

八木 勝自

下記の広告を時々新聞やTV放送で見かけます。この広告は盲導犬の人たちのことだと知りつつ、それでも問題点があると書きます。皆さんは下記の広告を見て、問題を感じませんか。私はこのコマーシャルに対してスタッフの問題ではなく1つは日本盲導犬協会の広告とはいえ、1階から2階までの10人中、障害者は下から2階の盲導犬を連れた人と、白杖を持った男性の3人で、まあそれも含めた10人の人がいってきますーと言ってアパートから外に出ようとしているのに目が視えなかったり、目が視えている人3人も含めて他の車椅子障害者がいないことがそれはそれでわかる気もするので、問題は、アパートの1階2階の人の住人、女性と思われる人が1人しかいないことです。私はこの広告をつくった公益社団法人ACジャパンの問題だと思います。公共のコマーシャルをつくる人がこういった偏ったコマーシャルをつくって良いのでしょうか。私はこれをつくった人や会社も問題だと思いますが、それよりも今はダイバーシティとか色々な価値観を認めようとしている人たちが、何故この広告に訴えて苦情や指摘をしないのか、私はそっちの方が問題だと思っています。私はそういったことを誰かが気づいて言ってくれるものと思っていましたが、なかなかそういった苦情や指摘が出てこないのです、この広告が今年のクリスマスイブが明けた北日本新聞朝刊に載っていたので指摘を書

かざるを得なくなりました。人口の半分は女性なのに、他の障害者は女性が目立ったところ10人中1人しかいないことがやはり問題だと思います。この広告をつくった人は基より、TVや映像で流した人たちは新聞に載せる人たちは一体どう思っているのか。社会に女性は他の障害者も含めて出なくて良いと言っているのか。この広告をつくる方がこのコマーシャルを映像や新聞などに載せる人たちが問題だと思っています。そして繰り返し言いますが、何故セクハラやパワハラなど社会に言ったりしている団体が何故問題にしないのか「いってきます！をすべての人へ。」はそういったことも問題にしないのか甚だ疑問に思います。

私はこのコマーシャルの影響や記事、広告は即廃止や作り直しが必要だと思っています。それこそこのような作品をつくる時は多くの人のことを考えて行動していきましょう。

いってきます！をすべての人へ。

外へ出かける、という幸せを、
取り戻せていない人がいる。

誰も予想しなかった日常の中で、私たちは、気がついた。
外へ出かけられることは、とても幸せなこと。
行きたいところにいけるのは、とてもとても、幸せなこと。
それは、目の見えない人、見えにくい人にとっても同じです。
日本盲導犬協会は、盲導犬や白杖の歩行指導を幅広く行なっています。

日本盲導犬協会 URL: www.moudouken.net

気づきを、動きへ。

公益社団法人 AC JAPAN は全国の1000を超える民間の企業と団体が
ひとつになって、店先を通して社会にメッセージを語り続ける活動組織です。

公益社団法人 AC JAPAN 〒104-0061 東京都中央区新富1-1-17 高橋ビル6F
●広告についての応募先は「AC JAPAN」 電話 03-6263-2111

2021年12月25日 北日本新聞朝刊

オンライン飲み会報告

去る 1 月 22 日にオンライン飲み会を開催しました。参加人数は 5 名。1 月のテーマは「今年の抱負」でした。各々、新年の挨拶もそこそこにテーマに沿って語ってもらいました。新年というとなかなか晴れ晴れしい新鮮な気持ちになるような気もしますが、現実はそのようなこともなく、「軽い風邪をひいて仕事場に行ったところ、追い出された」とか「ケガが多い」や「詐欺にひっかかりそうになった」など、なかなか 2022 年は年明け早々ツイていないという話しが盛りだくさんでした。

そして 1 番多かったのが「健康に過ごす」です。いやぶっちゃけ皆歳なんだろうな。俺も思ったもん、「その通りだな」って（笑）切実に共感したのは自分だけじゃないはずだ。そして少なくとも、うら若き少年時代は絶対に共感ではできなかったろうなあ。また他には、「お金を貯める」や「今年こそはウクレレをやる」などでした。ウクレレに関しては、3~4 年前にお誕生日プレゼントでもらったそうですが、それ以来触っていないとのことでした（笑）ただ、今年こそはという気概だけは感じられました。

と近況を交えながらそんな話しを展開しつつ、23 時 30 分頃に終わってしまいました。

因みに 12 月末のカウントダウンについては、ごくごく少人数での開催となりました。年が明けてからも少し話しをして無事に終わったようです。遅い時間の中、参加してもらい、ありがとうございました。

2 月のオンライン飲み会も開催したので、その報告はまた次回に。

そして 3 月のテーマは下記に。

3 月オンライン飲み会

日時 2022 年 3 月 19 日（土）19 時 00 分～終わるまで。

テーマ 愚痴りたいこと

アドレス

<https://us06web.zoom.us/j/87366814249?pwd=dWZodWk4Nlps5R1N1S0NKNG1VUXRkdz09>

ミーティング ID: 873 6681 4249

パスコード: 20220319

※テーマを知りたい方、アプリの使い方が分からない方は、夢宙人メンバーにお問い合わせください。

運営会議報告 2021 年 12 月 21 日現在

- 学習会
コロナ禍のため予定を立ててもできない可能性があるのも今は未定です。
 - 障害者部会
 - ・ 重度訪問介護のリーフレットが完成しました。デイサービス、障害者団体、行政センター、地区センターに配布予定です。1カ所5部と考えています。数カ所のマスコミに報道要請しました。・ インクルーシブ公園は県で計画があつて作られるとの事です。・ 障害者が入院した際にコロナ禍のせいで介護人が病院に派遣できないのは困るという話をし、今後何かしていかないといけないという事になりました。
 - 介護・介助者派遣事業部
事業所用のパンフレットを製作中です。
 - レクリエーション部
現時点ではオンライン飲み会のみ実施しています。今月はPM7時からの予定で、テーマは『今年の抱負を振りかえって』です。31日にカウントダウンをオンライン上で、PM11時30分から行う予定です。
 - 障ちゃんニュース発行部
障ちゃんニュースはほぼ出来ています。12月22日に印刷予定です。
 - まっち発行部
原稿は全く集まっていません。テーマは『友達』で締め切りは1月末です。原稿を大募集中です。他のテーマの原稿も大歓迎です。
 - 事務局・事務所の年末年始の休みは12月29日から1月3日までです。
 - その他
 - ・ 連絡網ですが、一部不備があつたので障害者部会の方で話し合つて下さい。
 - ・ 文福のパンフレットについて、より良いパンフレットになるように再度手直しする事にしました。
 - ・ インターバル勤務（終業時刻から次の始業時刻までの間に一定時間以上の休息時間を確保する仕組み）について現状はどうなっているか教えて下さい。文福としてそういうものがないのであれば検討をお願いします。
 - ・ インターバル勤務について調べてみます。
- ☆ 1月と2月の運営会議はコロナ禍のため中止としました。

報告者・中村

『まっち』の原稿大募集

個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行している『まっち』です。

皆さん、いつも原稿をお寄せ頂きありがとうございます。

もう 1 月も過ぎ去って行くというのに、まだ原稿があまり集まっていない状況なのです。皆さんからの原稿があつてこそその『まっち』だと思っております。

さて、次号のテーマは『友達』です。

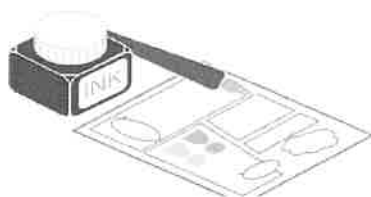
学生時代からの友達、大人になってからの友達、お子さんを通じての友達、趣味を通じての友達、皆さん沢山のお友達がおられるかと思えます。

貴方の大切なお友達の事や、「あんまり好きじゃないのだけど友達なんだよね！」なんて事も含め友達について書いて頂き「まっち」にお寄せ下さると嬉しく思います。

もちろん他のテーマの原稿も、詩、俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等どしどしお寄せ下さい。待ってま〜す。

原稿締め切り 2022 年 3 月末日 発行予定 4 月末です。

よろしくお願ひします。



文責 編集者 中村

ありがとうコーナー



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

速いもので、もう、3月になろうとしています。今年に入ってから、雪は昨年ほどではなかったもののやはり、雪が積もりました。そういう諸事情で今号は、2月3月合併号になりました。

さて、新型コロナウイルスの変異株オミクロン株が猛威を振るって、中々収まる気配がありませんね。私事ですが、3回目のコロナウイルスワクチン接種券が届きました。私は、3月10日に予約しました。〈アパッチ〉

2021年度 新規会員・継続会員

森田 真生子さま 加藤 正之さま 安村 美希さま

カンパ

木島 律子さま (富山県パーキンソン病友の会) 加藤 正之さま

いただきもの

吉田 都さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0887 富山市五福3734-3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 441-6106

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。